

2020年度

名古屋大学大学院環境学研究科
入学（進学）試験受験案内
(2020年秋入学募集)

本ファイルは、「2020年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程及び博士後期課程
学生募集要項（2020年秋入学募集）」の説明内容を補うものです。

受験に際しての各専攻ごとの注意事項等が記載されています。

受験を希望する者は、必要な部分を熟読のうえ、出願の手続き等を行ってください。

名古屋大学大学院
環境学研究科

2020年度名古屋大学大学院環境学研究科 入学（進学）試験受験案内 （2020年秋入学募集）

目 次

●名古屋大学大学院環境学研究科について

●受験に際しての注意事項等

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

社会環境学専攻

●統合環境学特別コースの案内

※試験会場等の建物の場所については、

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html> をご参照ください。

名古屋大学大学院環境学研究科について

- 名古屋大学大学院環境学研究科について
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/aboutus/index.html>
- 専攻の概要
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/dept/index.html>
- 学 位
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/aboutus/gakui.html>
- 教 員 一 覧
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/faculty/index.html>

受 験 に 際 し て の 注 意 事 項 等

注意事項

試験を受けるにあたって、不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示します。

なお、それ以後の受験はできなくなります。

また、受験した全ての教科・科目の成績は無効となります。

地球環境科学専攻

1. 試験場と集合時刻

1.1 博士前期課程

1. 試験場と集合時間

○一般選抜（普通入試）及び留学生特別選抜

【地球惑星科学系】 第一志望分野が地球惑星科学系（地球環境システム学，地質・地球生物学，地球化学，地球惑星物理学，地球惑星ダイナミクス，地球史学，生態学）の志願者

2020年8月24日（月） 13：00より 英語スコアシートの提出
13：30より 筆記試験「専門科目」

集合場所：環境総合館3階325号室（第2講義室）

集合時刻：「英語スコアシートの提出」開始10分前

2020年8月25日（火） 9：00より口述試験

集合場所：環境総合館3階311号室（第2演習室）

集合時刻：試験開始10分前

【大気水圏科学系】 第一志望分野が大気水圏科学系（地球環境変動論，気候科学，物質循環科学，地球水循環科学）の志願者

2020年8月24日（月） 13：00より 英語スコアシートの提出
13：30より 筆記試験「専門科目」

集合場所：環境総合館3階314号室（第1講義室）

集合時刻：「英語スコアシートの提出」開始10分前

2020年8月25日（火） 9：00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階315号室（第3演習室）

集合時刻：試験開始10分前

一般選抜（自己推薦入試）及び社会人特別選抜

【地球惑星科学系】 第一志望分野が地球惑星科学系（地球環境システム学，地質・地球生物学，地球化学，地球惑星物理学，地球惑星ダイナミクス，地球史学，生態学）の志願者

2020年8月25日（火） 13：00より 英語スコアシートの提出

集合場所：環境総合館3階311号室（第2演習室）

集合時刻：開始10分前

但し，一般選抜普通入試との併願者で，すでに英語スコアシートを提出している者は，集合を要しない。

2020年8月25日（火） 15：00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階311号室（第2演習室）

集合時刻：試験開始10分前

口述試験の際、一般選抜自己推薦入試では、卒業研究の内容や入学志望で研究したい内容、自己アピールしたい点などについて、社会人特別選抜では、前期課程での研究計画などについて、5分以内で発表する。その後、発表内容について、質疑応答を行う。なお、発表には白板とPCプロジェクターを使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS: Windows）が用意されている。

【大気水圏科学系】 第一志望分野が大気水圏科学系（地球環境変動論，気候科学，物質循環科学，地球水循環科学）の志願者

2020年8月25日（火） 13：00より 英語スコアシートの提出

集合場所：環境総合館3階315号室（第3演習室）

集合時刻：開始10分前

2020年8月25日（火） 15：00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階315号室（第3演習室）

集合時刻：試験開始10分前

口述試験の際、一般選抜自己推薦入試では、卒業研究の内容や入学志望で研究したい内容、自己アピールしたい点などについて、社会人特別選抜では、前期課程での研究計画などについて、5分以内で発表する。その後、発表内容について、質疑応答を行う。なお、発表には白板とPCプロジェクターを使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS: Windows）が用意されている。

*筆記試験においては試験開始後30分までの入室を認めるが、口述試験は遅刻を認めない。

1.2 博士後期課程

一般選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜

【地球惑星科学系】 地球環境システム学，地質・地球生物学，地球化学，地球惑星物理学，地球惑星ダイナミクス，地球史学，生態学の分野の志願者

2020年8月25日（火） 13：00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階311号室（第2演習室）

集合時刻：試験開始10分前

口述試験の内容：名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻地球惑星科学系からの進学志願者には、修士学位論文などの研究内容及び進学後の研究計画について約15分の口頭試問を行う。上記以外からの志願者には、修士学位論文などの研究内容と入学後の研究計画について15分の発表を課す。その後、専門に関する能力と語学力（英語）について、約15分の口頭試問を行う。なお、発

表には PC プロジェクターと白板を使用できる。また、Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS: Windows）が用意されている。

【大気水圏科学系】 地球環境変動論，気候科学，物質循環科学，地球水循環科学分野の志願者

2020年8月25日（火） 13：00より 口述試験

集合場所：環境総合館3階315号室（第3演習室）

集合時刻：試験開始10分前

口述試験の内容：名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻大気水圏科学系からの進学志願者には，研究計画を中心とした内容についての10分の発表を課す。上記以外からの志願者には，修士論文等（20分以内）と研究計画の内容（10分以内）について合わせて30分以内の発表を課す。その後，発表内容について，質疑応答を行う。なお，発表には PC プロジェクターと白板を使用できる。また，Microsoft Power Point 2016以降をインストールしたパソコン（OS: Windows）が用意されている。

*口述試験では遅刻は認めない。

2. 英語外部検定試験を利用した試験科目「英語」の実施要領について（博士前期課程）

2.1 試験の方法

今回の試験で有効とする検定試験の種別，ならびに受験日については，募集要項「5.2 試験当日に提出する書類」を参照すること。

2.2 スコアシートの提出方法

- (a) 試験当日の「英語スコアシート原本の提出」の際にスコアシートの原本を持参していない場合，試験科目「英語」の点数が零点となるので，十分に注意すること。
- (b) 入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験の回数は限られているので，これから TOEFL/TOEIC/IELTS を受験する者は試験開催日程に注意すること。
- (c) 受付可能なスコアシートについては募集要項を確認すること。例えば，IELTS ジェネラル・トレーニング，TOEFL PBT，TOEIC IP のスコアは受け付けないので，注意すること。

2.3 換算方法

- (a) 下記の換算表は，今回の試験における IELTS，TOEFL (iBT)，TOEIC の間の換算の目安を示している。
- (b) 下記の換算表は，地球環境科学専攻の今回の試験のみに適用されるものとする。

参考換算表

IELTS	TOEFL iBT	TOEIC
7.5～	109～	960～
7	100～108	870～960
6.5	90～99	800～870
6	80～89	730～800
5.5	69～79	650～730

5	61～68	580～650
4.5	52～60	500～580
4	45～51	440～500
3.5	33～44	310～440
3	29～32	270～310

2.4 TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細

下記のホームページを参照するか、または各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: <http://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

3. 専門科目の出題範囲 (博士前期課程)

ここでは、博士前期課程の一般選抜普通入試で行う筆記試験（専門科目）の出題範囲について説明する。なお、過去に出題された問題については下記の環境学研究科ホームページに公表されている。

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/>

【地球惑星科学系】

地球惑星科学の基礎となる分野の以下の8問より任意の2問を選択する。

専門科目の問題名	主な出題範囲
地球環境学	気候変動、水循環、物質循環、エネルギー収支、環境容量、生態系など地球環境に関する問題。
地球科学 I	造構作用（プレートテクトニクスを含む）、地球環境と生物の相互作用、陸域および海洋域における広義の堆積学、地史および地質図学に関する問題。
地球科学 II	変成岩、火成岩、造岩鉱物、岩石組織、相平衡、地殻—マントル相互作用、岩石の変形、地球内部の温度構造、変成・火成作用とテクトニクス、およびそれらに関連する地球内部ダイナミクスに関する問題。
地球科学 III	元素の起源と分布、地球表層における元素循環、同位体地球化学、年代測定法、化学平衡論、地球化学実験法に関する問題。
物理学	力学および熱力学に関する問題：[力学] 質点系の運動、剛体の運動など、[熱力学] 熱力学第一法則、熱力学第二法則とエントロピー、熱力学関数と平衡条件など。
化学	原子・分子の構造、元素の性質、化学量論、化学熱力学の基礎、化学平衡の基礎、酸・塩基平衡、酸化・還元反応、気体・溶液の性質、分析化学、有機化合物の構造と結合および反応性に関する問題。
生物学	生物学、基礎生物学に関する問題：遺伝、細胞、生理、生態、分類、系統、進化、分子生物学、機能形態、生物地理など。 参考書：エッセンシャルキャンベル生物学（丸善出版）など
数学	解析学、線形代数学、微分方程式、確率・統計に関する問題。

【大気水圏科学系】

大気水圏科学の基礎となる分野の以下の7問より任意の2問を選択する。

専門科目の問題名	主な出題範囲
地球環境学	気候変動, 水循環, 物質循環, エネルギー収支, 環境容量, 生態系など地球環境に関する問題。
地球物理学	気象学・大気物理学・海洋物理学に関する問題: 大気熱力学, 大気放射, 大気・海洋に関する流体力学, 降水, 大気・海洋中の物質輸送, 気候変動など。
地球化学	大気水圏科学に関連した学部で学ぶ専門科目(地球化学・環境化学・大気化学・海洋化学など)の基本的な内容: 分析化学・化学実験の基本, 放射性・安定同位体の環境研究への応用, 大気・海洋・陸域における化学プロセスと物質循環。
物理学	力学および熱力学に関する問題: [力学] 質点系の運動, 剛体の運動など, [熱力学] 熱力学第一法則, 熱力学第二法則とエントロピー, 熱力学関数と平衡条件など。
化学	原子・分子の構造, 元素の性質, 化学量論, 化学熱力学の基礎, 化学平衡の基礎, 酸・塩基平衡, 酸化・還元反応, 気体・溶液の性質, 分析化学, 有機化合物の構造と結合および反応性に関する問題。
生物学	生物学, 基礎生物学に関する問題: 遺伝, 細胞, 生理, 生態, 分類, 系統, 進化, 分子生物学, 機能形態, 生物地理など。 参考書: エッセンシャル キャンベル生物学(丸善出版)など
数学	解析学, 線形代数学, 微分方程式, 確率・統計に関する問題。

4. 出願に際して

4.1 志望分野

博士前期課程の出願者は志望する教員もしくは分野を第2志望まで選ぶことができる。志願者は受験案内やホームページなどを参考にし、志望する分野の研究内容等を熟慮した上で志望先を決めること。志望分野を決めるにあたっては担当教員と連絡を取り、研究室を訪問することが望ましい(各研究室または教員の連絡先は本受験案内等を参照)。

4.2 2020年度および2021年度の指導教員・教育研究内容の一覧

○別表1 ファイルを参照のこと。

都市環境学専攻

1. 都市環境学専攻の履修コース、問題選択および指導教員について

都市環境学専攻では、持続発展学コース、建築学コースの2つの履修コースを設け、体系的な学習を目指している。履修コースごとに取得できる学位の分野が異なり、それぞれ修了要件が定められている。

学力検査は履修コースごとに実施し、日程、内容ともに異なる。また、併願はできない。したがって、履修コースと希望する指導教員をあらかじめ選択の上、受験する必要があるので注意すること。

各履修コースの教員名および教育研究内容を別表1「指導教員および教育研究内容の一覧」に示すので、受験に際しての参考にすること。なお、一部の教員は複数のコースに関わる教育研究分野を担当しているので、これらについては該当するコースに重複して記載している。

名古屋大学国際環境人材育成プログラム（別紙3参照）の志望者は、持続発展学コースを受験すること。

2. 博士前期課程の案内

2.1 持続発展学コース

(1) 試験日程と対象者

A日程にて実施する。なお、名古屋大学国際環境人材育成プログラム（別紙3参照）の志望者は、本入試に則って選抜を実施する。

(2) 試験のスケジュールと試験場

A日程

年月日	時間	一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜	試験場
2020年 8月5日（水）	9:30-11:30	筆記試験 （専門科目）	筆記試験 （専門科目）	口述試験	筆記試験は環境総合館3階講義室1、口述試験は別途指示する
	13:00-14:00	筆記試験 （小論文）	筆記試験 （小論文）		同上
	16:30-	面接	面接	面接	別途指示する

(3) 受験に際しての注意事項

- 出題範囲などについては、別表2「名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（持続発展学コース）2020年度博士前期課程入学試験（秋入学募集）学力検査出題範囲」を参照のこと。
- 一般選抜および留学生特別選抜を受験しようとする者は、筆記試験会場に試験開始の30分前までに入室すること。遅刻の場合、A日程の筆記試験（専門科目）の試験開始60分後、筆記試験（小論文）の試験開始30分後までの入室を認める。ただし、C日程の筆記試験（基礎科目）および筆記試験（専門科目）については、試験終了時刻を過ぎて到着した受験生には受験を認めない。

終了時刻前に到着し、遅刻が本人の責めに帰さない場合は、試験終了時刻の繰り下げを認めることがある。なお、いずれの場合も早退は認められない。

- 試験に際しては、黒鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・鉛筆削り・時計以外を使用してはいけない。辞書等（電卓あるいは辞書機能付き携帯電話・時計等も含む）は使用できない。電卓に関しては、試験に必要な場合のみ大学側で準備する。
- 社会人特別選抜受験者は、あらかじめ希望指導教員と連絡をとり、口述試験に関して打ち合わせを行うこと。なお、口述試験の開始予定時刻・場所については、希望指導教員からあらかじめ連絡する。

(4) 面接

持続発展学コースの全教員による面接である。集合時刻、開始予定時刻、面接場所、控室などについては、最初に実施する試験科目の際に配付する資料を参照すること。

(5) 英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）を利用した試験科目「英語」の実施要領について

1. 試験の方法

- (a) 試験科目「英語」における TOEFL/TOEIC/IELTS スコアの換算による採点は、前期課程／後期課程、一般選抜／留学生特別選抜／社会人特別選抜のいずれの試験でも実施する。
- (b) 今回の試験で有効とする外部検定試験の種別、ならびに受験年月日については、募集要項「5.2 試験当日に提出する書類」を参照すること。

2. スコアシートの提出方法

- (a) TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートは、その原本を募集要項に定める試験時間に提出を求める。
- (b) 入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られている。これから受験する者は試験開催日程に注意すること。
- (c) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細については下記のホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: <http://www.iibc-global.org/toeic.html/>

IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

3. 換算方法

- (a) TOEFL (iBT) からの換算は、上限300点、下限0点として以下の式を用いる。
TOEFL (iBT) スコア \times 4.38 - 125 = 換算点
- (b) TOEIC からの換算は、上限300点、下限0点として以下の式を用いる。
TOEIC スコア \times 0.522 - 156 = 換算点
- (c) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (iBT) に換算（幅で示されている換算点数の中間値を用いる）した後、(a)の方法を適用する。
- (d) 以上の換算方法は、今回の試験のみ適用されるものとする。

(6) 過去の入試問題の公表

過去の入試問題については、下記で入手可能である。

都市環境学専攻持続発展学系ホームページ

<http://www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/Jindex.html>

3. 博士後期課程の案内

3.1 持続発展学コース

(1) 試験のスケジュールと試験場

以下の日程にて実施する。

なお、名古屋大学国際環境人材育成プログラム（別紙3参照）の志望者は、本入試に則って選抜を実施する。

年月日	時間	一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜	試験場
2020年 8月25日（火）	13：30－17：30	筆記試験 （専門科目）	筆記試験 （専門科目）		環境総合館1階 レクチャーホール
2020年 8月26日（水）	9：00－13：00	口述試験	口述試験	口述試験	別途指示する
2020年 8月27日（木）	9：00－	面接	面接	面接	別途指示する

(2) 受験に際しての注意事項

- ・受験者は、別表1「指導教員および教育研究内容の一覧」を参照の上、記載されている持続発展学コースの教員から希望する指導教員を1名選び、その氏名を受験票および写真票の「指導教員名」欄に記入すること。また、出願に際し、希望指導教員とよく連絡をとっておくこと。
- ・筆記試験（専門科目）[一般選抜、留学生特別選抜]の試験科目（3分野）設定のため、出願前に希望指導教員に必ず連絡をとり、受験の内諾を得ること。
- ・一般選抜および留学生特別選抜を受験しようとする者は、筆記試験会場に試験開始の30分前までに入室すること。筆記試験（専門科目）については、試験終了時刻を過ぎて到着した受験生には受験を認めない。終了時刻前に到着し、遅刻が本人の責めに帰さない場合は、試験終了時刻の繰り下げを認めることがある。なお、いずれの場合も早退は認められない。
- ・試験の際には、黒鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・鉛筆削り・時計以外を使用してはいけない。辞書等（電卓あるいは辞書機能付き携帯電話・時計等も含む）は使用できない。電卓に関しては、試験に必要な場合のみ大学側で準備する。

(3) 英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）を利用した試験科目「英語」の実施要領について

1. 試験の方法

- (a) 試験科目「英語」における TOEFL/TOEIC/IELTS スコアの換算による採点は、前期課程／後期課程、一般選抜／留学生特別選抜／社会人特別選抜のいずれの試験でも実施する。
- (b) 今回の試験で有効とする外部検定試験の種別、ならびに受験年月日については、募集要項「5.2 試験当日に提出する書類」を参照すること。

2. スコアシートの提出方法

- (a) TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートは、その原本を募集要項に定める試験時間に提出を求める。
- (b) 入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られている。これから受験する者は試験開催日程に注意すること。
- (c) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細については下記のホームページを参照するか、各試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html>

TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/index.html>

IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>

3. 換算方法

- (a) TOEFL (iBT) からの換算は、上限300点、下限0点として以下の式を用いる。
 $TOEFL(iBT) \text{ スコア} \times 4.38 - 125 = \text{換算点}$
- (b) TOEIC からの換算は、上限300点、下限0点として以下の式を用いる。
 $TOEIC \text{ スコア} \times 0.522 - 156 = \text{換算点}$
- (c) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (iBT) に換算（幅で示されている換算点数の中間値を用いる）した後、(a)の方法を適用する。
- (d) 以上の換算方法は、今回の試験のみ適用されるものとする。

(4) 口述試験・面接

集合時刻、開始予定時刻、面接場所、控室などについては、最初に実施する試験科目の際に配付する資料を参照すること。なお、社会人特別選抜受験者については、希望指導教員からあらかじめ連絡する。

3.2 建築学コース

(1) 試験のスケジュールと試験場

○第1次選考：B日程にて実施する。

年月日	時間	一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜	試験場
2020年 8月19日(水)	10:00-12:00	口述試験	口述試験	口述試験	別途指示(注1)
	13:00	試験場集合	試験場集合	試験場集合	環境総合館3階 講義室2と 講義室3(注2)
	13:30-16:30	筆記試験 (専門科目)	筆記試験 (専門科目)	口述試験	筆記試験:同上 (注2) 口述試験:別途 指示(注1)
2020年 8月20日(木)	9:00-12:00	口述試験	口述試験	口述試験	別途指示(注1)
	13:30-(注3)	面接	面接	面接	環境総合館3階 講義室2と 講義室3(注2)

- (注1) 口述試験はいずれかの時間帯で実施する。試験場は、受験票と一緒に送付される試験場案内にて通知する。
- (注2) 受験生の人数が多い場合は、試験場を変更することもある。その場合は、受験票と一緒に送付される試験場案内にて通知する。
- (注3) 受験生の人数によっては、面接開始時刻や終了時刻が変更になることもある。集合時刻、集合場所や面接開始時刻については、受験票と一緒に送付される試験場案内にて通知する。

(2) 試験内容について

志願者は指導希望教員にあらかじめ連絡を取り、受験科目について指示を受けること。

1) 筆記試験（専門科目）[一般選抜、留学生特別選抜]

志望する専門分野の筆記試験である。

2) 口述試験

希望する指導教員を中心とする建築学コースの教員により、これまでの研究内容および後期課程での研究計画に関連する事項に関する試問を行うとともに、専門に関する能力について口述による試験を行う。

3) 面接

建築学コースの教員により、これまでの研究内容および後期課程での研究計画に関連する事項に関して試問する。

(3) 英語外部検定試験（TOEFL/TOEIC/IELTS）を利用した試験科目「英語」の実施要領について

(a) TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシート（TOEFL の“Examinee Score Report”，TOEIC の“Official Score Certificate”〈公式認定証〉，IELTS の“Test Report Form”〈成績証明書〉）は、その原本を最初に実施する試験科目（博士後期課程一般選抜、留学生特別選抜の場合は「専門科目」）の際に提出を求める（返却はしない）。もし原本を提出しない場合、試験科目「英語」の点数が零点になるので十分に留意すること。なお、英語を母語とする者については、TOEFL/TOEIC/IELTS のスコアシート原本の提出を免除し、口述試験と面接試験の結果に基づき試験科目「英語」の採点を行うので、2020年6月26日（金）までに指導希望教員に連絡すること。

(b) 今回の試験で有効とする外部検定試験の種別、ならびに受験年月日については、募集要項「5.2 試験当日に提出する書類」を参照すること。入試までの間に開催される TOEFL/TOEIC/IELTS の試験は、回数が限られている。これから受験する者は試験開催日程に注意すること。

(c) TOEFL/TOEIC/IELTS に関する詳細は下記のホームページを参照するか、または試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: <http://www.iibc-global.org/toEIC.html>

IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

換算方法

(a) TOEFL (PBT) からの換算は、657点以上を満点に相当する200点、350点以下を0点として、

TOEFL (PBT) スコアが657～350点の場合、以下の式を用いる。

$$\frac{\text{TOEFL (PBT) スコア} - 350}{(657 - 350)} \times 200 = \text{換算点}$$

(b) TOEFL (iBT) からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (PBT) に換算した後、(a) の方法を適用する。

(c) TOEIC からの換算は、以下の式を使用して TOEFL (PBT) に換算した後、(a) の方法を適用する。

$$\text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL (PBT) スコア}$$

(d) IELTS からの換算は、一般的に用いられる換算表に基づいて TOEFL (PBT) に換算（幅で示されている換算点数の中間値を用いる）した後、(a) の方法を適用する。

(e) 以上の換算方法は、今回の試験のみ適用されるものとする。

(4) 受験上の注意

- 1) 受験票を必ず携帯し、試験中は常に机上に提示すること。
- 2) 各試験とも、試験開始前ないし定められた集合時間までに試験場に集合し着席すること。
なお、各筆記試験においては試験開始30分後までの入室を認める。口述試験および面接においては集合時間に遅れた場合は失格となる。
- 3) 各試験においては、鉛筆およびその相当物、消しゴム、鉛筆削り、図などを描くために使用する簡単な定規以外は一切使用してはならない。
- 4) 時計などのアラームや携帯電話などの通信機器の電源は、あらかじめ切っておくこと。
- 5) 試験会場で使用が不適切と判断されたものに関しては、その場で使用を禁ずることがある。

(5) 指導希望教員の申告

受験者は、別表1「指導教員および教育研究内容の一覧」を参照の上、記載されている建築学コースの教員から指導を希望する教員を1名選び、その氏名を後日、受験票と共に郵送される「指導希望教員等調査用紙」に記入して申告をすること。なお、ここでは、分野名などの記入は認められず、必ず指導教員の氏名を記入すること。誤記入の場合には無効となる場合があるので注意すること。この調査用紙は第1日目の筆記試験（専門科目）、社会人特別選抜の場合は口述試験の開始前に回収する。

3.3 2020年度および2021年度の指導教員・教育研究内容の一覧

○別表1 ファイルを参照のこと。

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（持続発展学コース）
2020年度 博士前期課程入学試験（秋入学募集）学力検查出題範囲

A 日程（持続発展学コース）

	科目名		主な出題範囲
	分野	解答形式	
英語	英語	TOEFL, TOEIC または IELTS のスコアを提出する。	提出されたスコアにより成績を判定する。
専門科目	環境工学・環境政策	環境工学・環境政策から3問, 環境化学から2問, システム学から1問の合計6問が出題されるので, 3問を選択し解答する(1分野のみから選択してもよい)。	環境と経済, 交通と環境, 環境リスク, 費用便益分析, 環境管理システムなどに関する基礎的知識を問う問題, 国土環境保全, 資源・エネルギーの利用と再生, 大気汚染・水質汚濁の防止, 環境影響評価などに関する技術の実際と応用に関する知識を問う問題
	環境化学		資源・エネルギーの化学, 物質の製造・廃棄・循環利用(グリーンケミストリー), 大気・水・土壌の物質汚染, 地球温暖化, 酸性雨・海洋酸性化など, 環境に関わる物質化学の知識を問う。
	システム学		システムの解析, 設計, 制御, 運用, 評価等に関する基礎的知識を問う。
小論文	小論文	1問が出題される。	社会・経済および環境問題などに関する小論文で, 主としてその論理性を問う。

※持続発展学コースのA日程学力検査は, 文系を含めた幅広い分野の出身者が受験できるように配慮されている。

2020年度・環境学研究科都市環境学専攻持続発展学コース博士前期課程・博士後期課程

「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」の案内

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻では、工学研究科土木工学専攻と協力して、「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」を実施している。本プログラムは、アジア・アフリカ諸国が直面する様々な環境問題の解決を担う次世代の環境リーダーの育成を目的とするものである。

下記の説明および資料を参照の上、参加を希望する場合には、必要な手続きをとること。

対象学生

博士前期課程・博士後期課程に入学する留学生および日本人学生

プログラムの概要 ※詳細については、ホームページ (<http://www.civil.nagoya-u.ac.jp/nugelp/index.html>) を参照のこと。

- 地球環境問題や持続可能な開発問題を対象に、事象の理解、対策技術の理解・修得、制度設計・政策運営の能力獲得のための教育を実施する。講義等は英語で行う。
- グローバル研究インターンシップを必修科目とする。旅費等の援助については指導教員と相談すること。
- 留学生と日本人が相互に啓発しあいながら共に学び、国際的コミュニケーション能力を向上させる。
- 博士後期課程の学生は「統合環境学特別コース」に準じたカリキュラムで専門的且つグローバルな視野を培う。
- プログラム所定の学業を修めた学生には、修士学位或いは博士学位に加えて、プログラム修了認定証を授与する。

参加希望から選考、参加までの流れ

- ① 入学志願票のプログラム参加希望に関する欄に、参加希望である旨記入すること。(該当箇所に回答がない場合には、選考の対象にならないので注意すること)
- ② 入試合否発表後、参加希望者のうち合格者を対象に面接を実施する。入試成績、英語能力、意欲などを総合的に評価して、プログラム学生を選考する。
- ③ プログラムから選考結果を通知する。
- ④ 入学時に、ガイダンスを実施する。

※選考案内を含むプログラムからの連絡は、基本的にメールで行う。参加希望の受験者は必ず、入学志願票に確実に受信できるメールアドレスを記載すること。特に入試合否発表前後は、定期的にメールを確認すること。

注意事項

- プログラムの博士前期課程に所属する学生は、プログラム指定科目(指導教員によるセミナー科目8単位およびグローバル研究インターンシップ2単位を含む計22単位)を履修することが求められる(学位取得に必要な単位としてカウント可能)。
- プログラムの博士後期課程に所属する学生は、プログラム指定の後期課程の授業科目から、基礎環境学講究1と臨床環境学研修1を含む10単位以上を履修することが求められる。
- プログラム学生は通常の学生と同様に、都市環境学専攻持続発展学コースの教員の中から、自分の専門や興味にあわせて指導教員を自由に希望することができ、それぞれの研究室に所属して専門分野について学びながら、プログラム履修を進める。プログラム参加については、**事前に希望指導教員に相談すること**。
- プログラムが提供する科目は一部を除いて開放されている。したがって、プログラム参加学生以外の一般学生も受講可能である。

問い合わせ先： 名古屋大学国際環境人材育成プログラム (NUGELP)
〒464-8601 名古屋市中種区不老町 D 2-2 名古屋大学環境総合館223号室
E-mail: envleaders@urban.env.nagoya-u.ac.jp

社会環境学専攻

1. 社会環境学専攻の分野，出願に当たっての注意

1.1 社会環境学専攻の分野，出願に当たっての注意

社会環境学専攻は，それぞれカリキュラムの異なる5講座によって構成されています。学生は，それらの各講座のいずれかに所属し，指導教員の指導の下で修士論文または博士論文を作成することになります。所定単位を履修し，修士論文ないし博士論文の試験に合格すると，修士または博士の学位を取得できます。社会環境学専攻で取得できる修士ないし博士の種類は環境学・経済学・法学・社会学・地理学のいずれかで，それぞれ単位取得の要件が異なります。各講座の説明については，社会環境学専攻のホームページをご覧ください。

(<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/dept/society.html>)

また，過去の入試問題は，環境学研究科のホームページの「入試」をご参照ください。

(<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/admission/index.html>)

入学試験では，環境政策論，経済環境論，環境法政論，社会学，地理学の5つの分野で学生を募集します。各分野は各講座にそれぞれ対応します。社会環境学専攻の受験にあたっては，それらから志望する分野（あるいは指導を希望する教員）を1つ選ばなければいけません。第2志望分野の募集は行っていません。

入学後，指導教員とよく相談して学修・研究計画を立てる必要がありますので，どの分野を志望するか，どの教員の指導を希望するかということについて，受験前によく検討しておくことが必要です。なお各教員の教育研究内容を別表1に掲げておきますので，検討の際に参考にしてください。とくに指導を希望する教員が決まっている場合，あるいは教育研究内容について質問がある場合は，受験前に，各教員まで遠慮なく連絡してください。

別表1で*印が付いている教員を指導教員として希望する場合は，志願理由書の「指導教員名」欄に教員名だけでなく志望分野名を明記するようにしてください。

1.2 2020年度および2021年度の指導教員・教育研究内容の一覧

○別表1 ファイルを参照のこと。

2. 前期課程の入学試験について

社会環境学専攻の前期課程の入学試験は，大きく，筆記試験と口述試験とから構成され，筆記試験には専門科目Ⅰと専門科目Ⅱとがあります。一般選抜と留学生特別選抜の受験生は，自己推薦入試のケースを除いてこれらのすべての試験を受験しなければなりません。社会人特別選抜については，筆記試験（専門科目Ⅰ）と口述試験とが課されます。

筆記試験では，専門科目Ⅰと専門科目Ⅱの双方とも，それぞれ入学志望分野の出題に解答しなければいけません。試験時間，各分野の出題範囲，その他の注意事項などについては，学生募集要項をご覧ください。なお口述試験は，基本的に分野ごとに行われます。

筆記試験などの試験会場については，受験票発送時に受験生本人に直接通知されます。

指導を希望する教員が決まっている場合、あるいは研究したい内容や教員の教育研究内容について質問がある場合は、受験前に各教員に連絡するようにしてください。

統合環境学特別コースの案内

グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」(平成21年度～平成25年度)を契機に、統合環境学特別コースが平成22年度から大学院環境学研究科博士後期課程に設置された。この特別コースは生命農学研究科森林・環境資源科学専攻にも設置され、共同で授業や研究指導を行っている。以下で、環境学研究科に入学・進学を予定されている方を対象に統合環境学特別コースについて説明する。

1. 本特別コースは、環境学研究科の博士後期課程の各専攻(履修コース)に入学または進学する者が、各自の専攻・履修コースのカリキュラムに加えて、本人の希望により選択するものである。
2. 希望者は入学志願票の所定欄に✓を記入すること。
3. 主旨は専門分野の勉強・研究だけでなく、診断的分野と治療的分野をつなぐ臨床環境学・基礎環境学に積極的に参画して視野を広げようとする学生を育てることにある。
4. 修了要件：後期課程の授業科目から、臨床環境学研修1(2単位)と基礎環境学講究1(2単位)を含む10単位以上を履修すること。学位論文に関する研究指導は必修とする。修了に必要な単位数が、通常の専攻・履修コースより多いことに注意すること。
5. 学位は、各自の所属する専攻・履修コースでの取り扱いに従って審査・授与される。
6. 本特別コースの修了者には学位とは別に修了証を発行する。
7. 統合環境学特別コースに関連した後期課程授業は次の通りである。いずれも、研究科共通科目である。
 - (ア) 臨床環境学研修1, 2(各2単位)国内のフィールドにおいて、診断と治療の双方の教員・学生から成るチームが、問題特定から解決策の策定までの実践的な研修を進める。
 - (イ) 基礎環境学講究1, 2(各2単位)臨床環境学を支える体系としての基礎環境学を構築するため、環境の描像、診断と治療の方法、及び研究・実践の理念・態度に関して教員・学生双方で発表し、共有する。